



新型コロナウイルス感染防止で 在宅している高齢者が狙われています!!

警察官や金融庁職員をかたって高齢者の自宅を訪問し、キャッシュカードを見せてもらい、隙を見て偽物とすり替える「カードすり替え詐欺」と呼ばれる被害が急増しています。

1 警察官役から電話



カードが偽造されている可能性があります。金融庁職員を自宅に向かわせます。

えっ!? 私のカードが?



2 金融庁職員役が来訪



カードを止めるので暗証番号のメモと一緒に封筒に入れて下さい。

3 印鑑を持ってこさせる

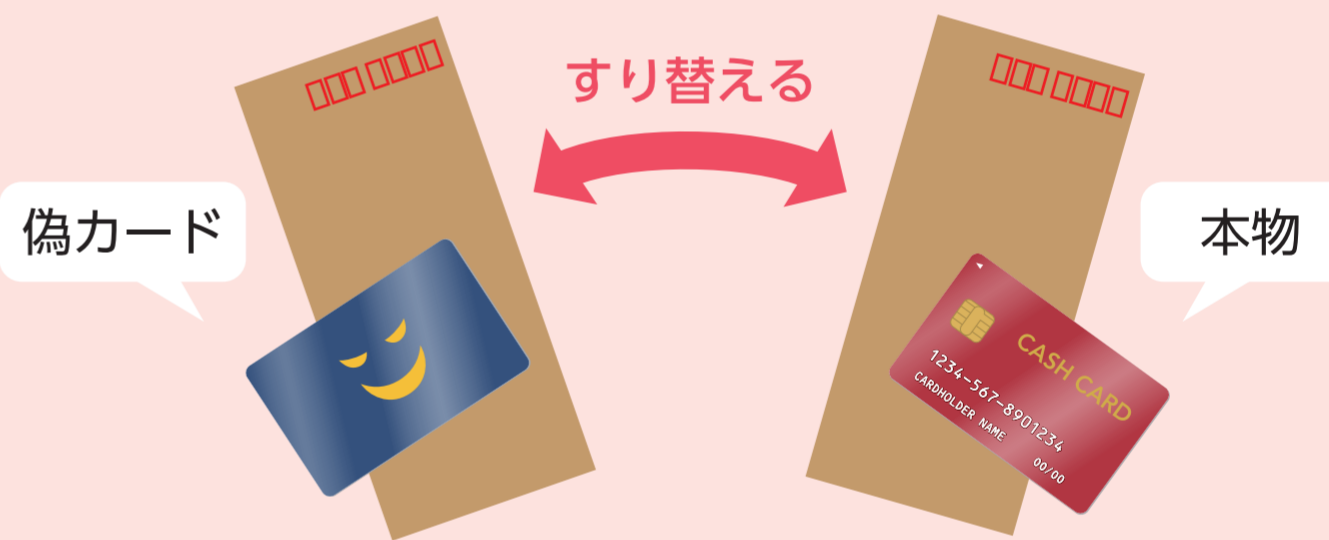


割り印があるので印鑑をお願いします。

ポイント

印鑑を室内に取りに行かせ、その場から離れさせる。

4 被害者が離れた隙にすり替えて、偽物のカードが入った封筒を渡す



5 犯人が本物の封筒の方を持ち去る



連絡があるまで保管して下さい。これで、安心です。

偽カード

6 盗んだカードで犯人が現金を引き出す



本物



ポイント

- ・被害者は偽物のカードが手元にあるため、盗まれたことに気づきにくい!
- ・連絡があるまで保管するように言われて放置することで発覚が遅れる。

警察官や金融庁職員をかたる電話があっても、むやみに信用しない!
他人にキャッシュカードは渡さない!! 暗証番号は教えない!!
不審だなと思ったら、110番または警察相談電話#9110へ

※このポスターは5月30日消費者の日「悪質商法・特殊詐欺被害防止キャンペーン」の一環として作成しています。

作成者：北海道立消費生活センター（指定管理者（一社）北海道消費者協会）

協力：北海道警察本部、札幌市消費者センター、(公社)札幌消費者協会、(一社)北海道消費者協会